

本日の
プログラム

年次総会 / 新会員卓話 梅光 伸行 会員

それほど(S)大事で(D)現代的な(G)仕事(s)

北海航測(株) 工藤 健太 氏

北海航測株式会社営業部の工藤と申します。私は主に北海道の地方自治体へ当社が開発したGISシステムの提案・測量航空写真の撮影図化・測量業務の営業全般を担当しております。2019年1月に入社し上司の営業に同行させていただきながら徐々に仕事を覚え、独り立ちできる状況になったと思っ矢先、新型コロナウイルスの感染拡大が本格化しました。北海道でも外出自粛要請が発出されたことで、営業活動を自粛せざるを得ない状況となり、社内に滞在する時間が増えたことから、その時間を活かして少しでも会社貢献できることがないか考え、たどり着いたのがSDGsでした。SDGsは17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人取り残さないことを誓っております。当初は会社としてではなく個人としてSDGsに取り組もうと思っておりましたが、コロナ禍で時間が出たせつかくの機会でもありましたので会社全体で取り組み、目標を達成したいと考えました。実際のSDGs計画段階で全社員にSDGsを理解しているか確認したところ「よく知らない」という回答が大多数でした。私は中小企業だからこそ全員がSDGsを理解すること、全社員の視点が一つになることが会社の強みになると考え、継続的な周知活動や積極的な情報共有を進めております。

当社の設定した目標の一点目は「社員全員に健康と平等を」で、SDGs目標3「すべての人に健康と福祉を」目標5「ジェンダー平等を実現しよう」です。取り組み内容は主に健康診断や新型コロナウイルス感染予防対策・清掃に関すること・交通安全について、また全社員を正社員として雇用していることもこの項目に充てております。二点目は「測量技術を活用した環境保全」で、目標2「飢餓をゼロに」目標4「質の高い教育をみんなに」目標11「住み続けられるまちづくりを」目標13「気候変動

に具体的な対策を」目標14「海の豊かさを守ろう」目標15「陸の豊かさを守ろう」とし、地方自治体の皆さまのご支援・ご協力も合わせて、当社の航空レーザーの撮影図化・GISを活用することで、ライフラインの保守点検、森林・河川・海の環境保全をしております。今後もさらなる環境保全に貢献できるよう活動して参ります。三点目は「エネルギー利用を大切に」でSDGs目標7「エネルギーをみんなに。そしてクリーンに」とし、社内の照明のLED化や冷暖房使用の節減による消費エネルギー削減、社用車をガソリン車からハイブリッド車等エコカーへと持続可能なエネルギーへの代替検討を行っております。私達は、なにか新しいことをすることだけがSDGsではなく、過去から現在まで社内で実施してきたことがSDGsに繋がっていると考えております。なにより重要なのは全社員がSDGsを理解し、小さなことでも継続的に実践していくことであると考えております。

またこれら我々の活動の広報活動の一環として、2021年からYouTubeチャンネルを開設致しました。動画作成や編集を私が担当しております。現状動画投稿数は少ないのですが、今後まだまだ増やしていく予定です。今後の活動内容を広げるためには情報発信の強化が必要であると考えております。当社は定期的に高校生のインターンシップを実施しており、先日来社された高校生のアイデアからSNSアカウントを作成致しました。当社がどのような会社なのか等、デジタル化を進め積極的に情報発信して参りたいと考えております。

ご清聴いただきありがとうございました。

